

経営比較分析表

長崎県 対馬市

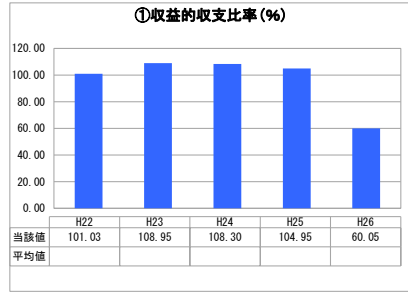
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	0.81	100.00
1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)			
3,780			

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,000	708.63	46.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
264	0.11	2,400.00

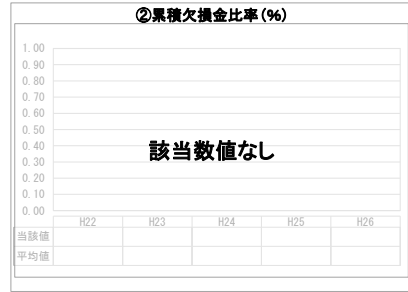
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



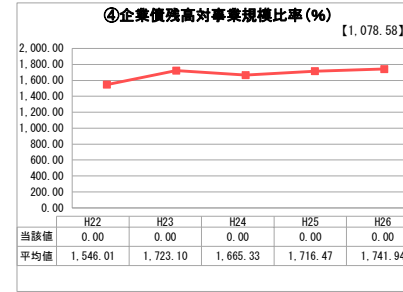
「単年度の収支」



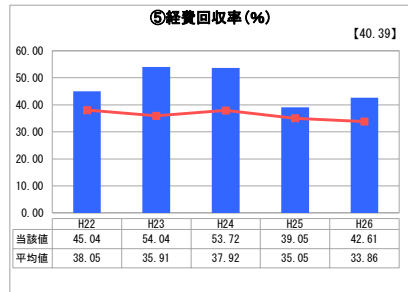
「累積欠損」



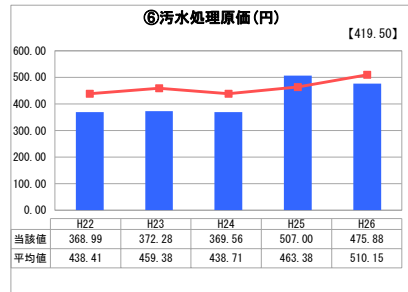
「支払能力」



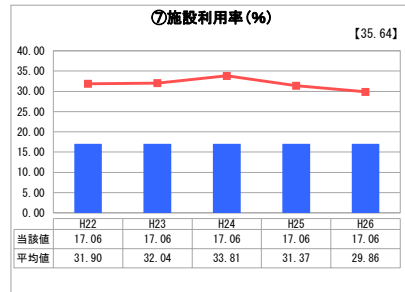
「債務残高」



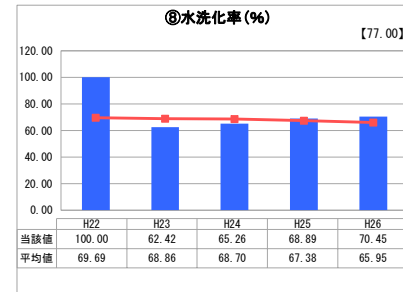
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

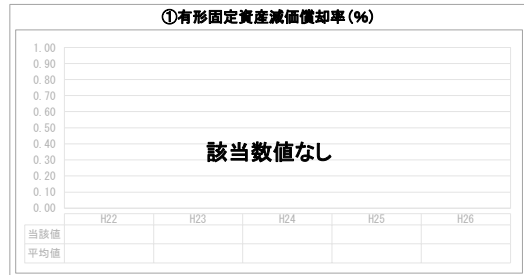


「施設の効率性」

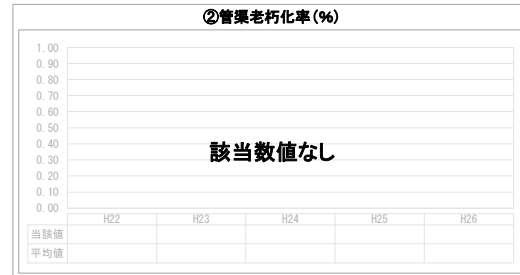


「使用料対象の捕捉」

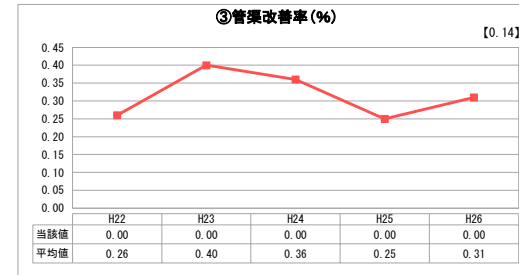
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

漁業集落排水施設である。使用料は、水道使用料に倣っているため安価となっており収益的収支比率は低くなっている。有収率は100%で累積欠損金はなく、流動性比率もない。経費回収率は、今のところ大規模な施設の改修がないため類似団体より高くなっている。汚水処理原価は、類似団体より低く収まっている。施設の利用率は類似団体に比べ低く、水洗化率は類似団体を上回っている。

2. 老朽化の状況について

平成15年4月から供用開始のため施設は新しく少額の修理程度である。また、大きな管渠改善予定もない。

全体総括

漁業集落排水事業であるため、阿連地区漁業者の生活排水や漁場の水質改善という側面がある。今後、加入者の増加見込みもほとんどなく更新には多額の予算が必要であり類似団体の経営状況を参考にした計画を立てる必要があると思われる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。